

# BeforeAfterCV server

処理パラメータ編

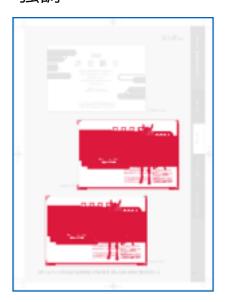
ver.180717

# 処理方式 概要



\_pageCompare.pdf

強調



差分



青赤



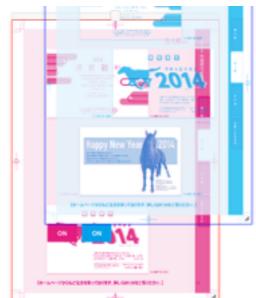


囲み



- 1 2 3 -0000 2014

煽りhtml



青赤html





交差法html



# 処理方式



\_pageCompare.pdf

どのように比較するかを選択します。

「強調」:差分箇所は強調色で塗りつぶします

「差分」:差分箇所はAfterで表示します

「青赤」:Beforeをマゼンタ、Afterをシアンで作成し重ねます

「囲み」: After上に、差分箇所を赤枠で囲みます。

### ・強調





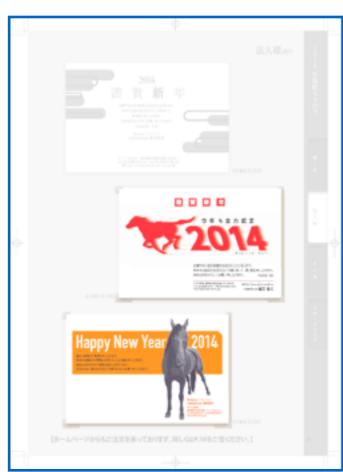




### ・差分







### ・青赤









・囲み











差分htmlを作成する場合にチェックします。複数のチェックも可能です。

「煽り」:煽り(アオリ、パタパタ)を表示します

「青赤」:Beforeをマゼンタ、Afterをシアンで作成

表示・非表示、移動、拡大、縮小、変倍、傾斜で調整できます

「交差」:BeforeとAfterを並べます



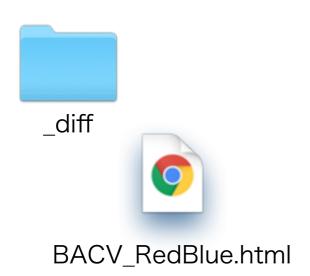


アニメーションgif 新旧画像が0.5秒間隔で切り替わります。

ページネーションしています。 ページ番号をクリックして変遷できます。



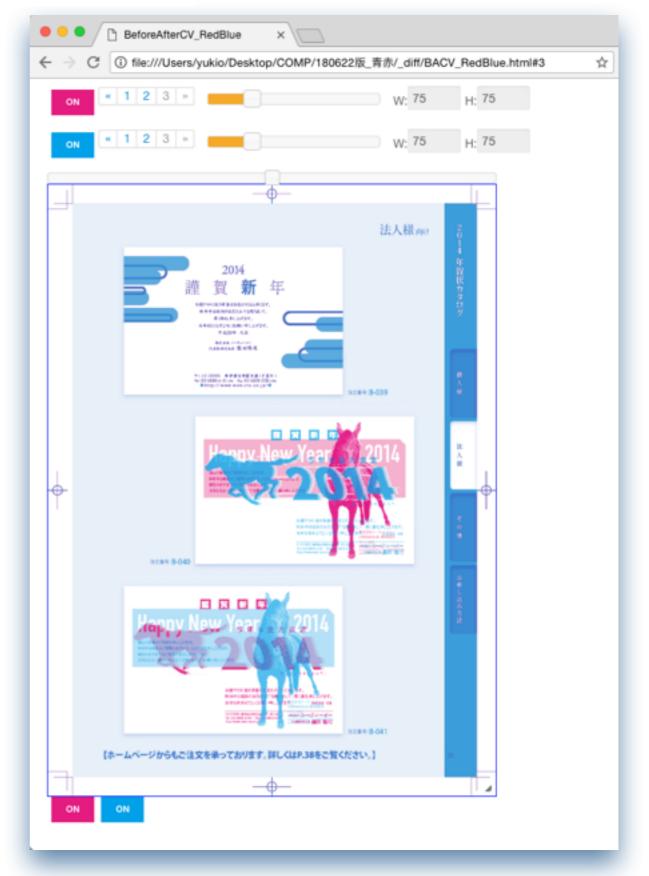
### ・青赤



#### ※推奨ブラウザはChromeです

10.8の古い環境のSafariでは表示が崩れます。 https://google-chrome.jp.uptodown.com/mac/oldより Google Chrome 34.0.1847.116 など 古いバージョンのChromeを取得してください

#### ブラウザ表示

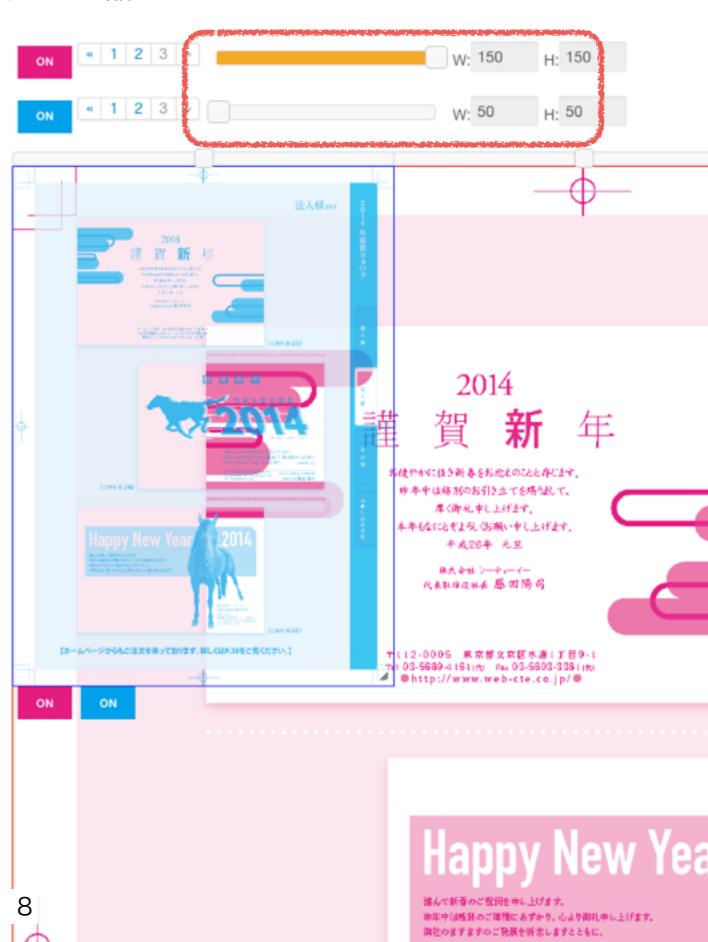




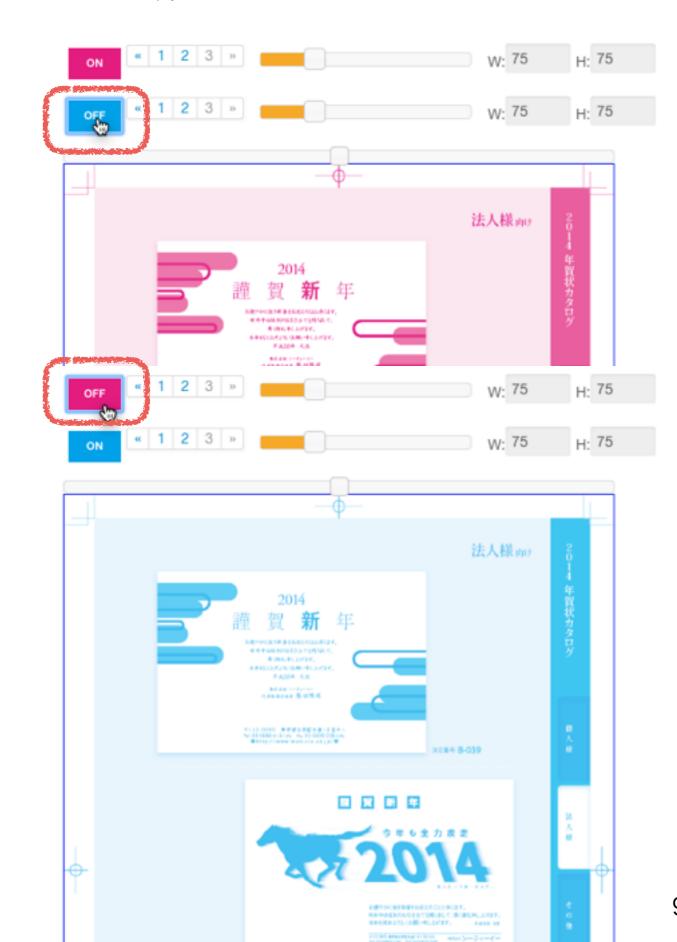
### ページネーション



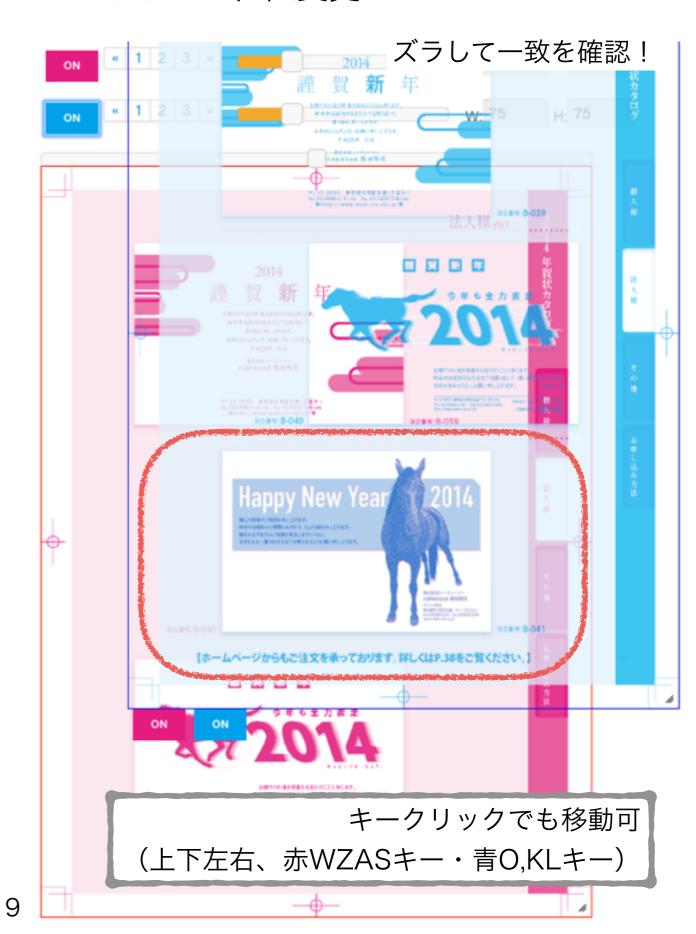
### 拡大・縮小



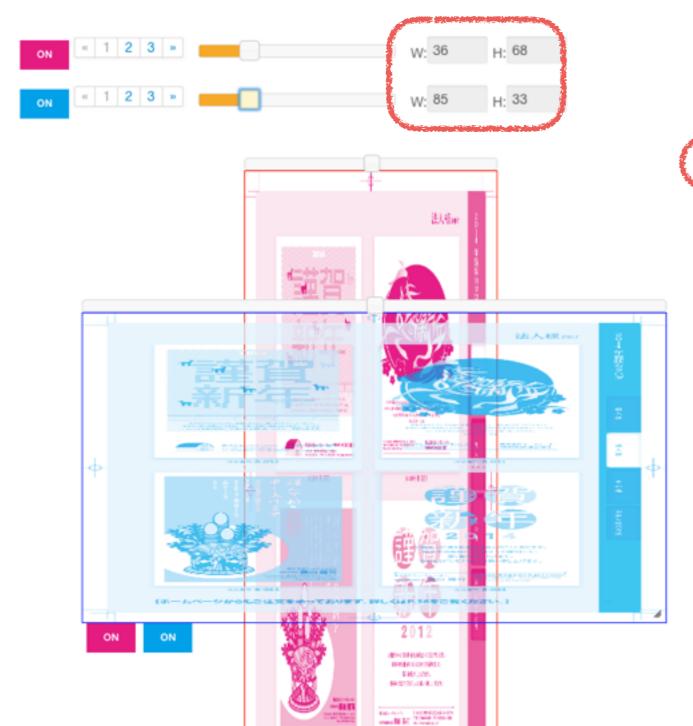
### 表示・非表示



### ドラッグして位置変更



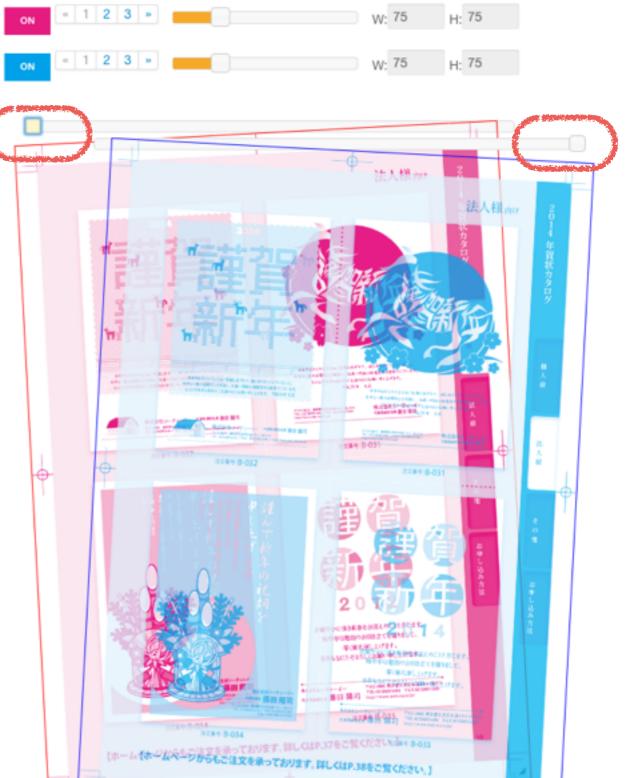
### 変倍



100105

[オームページからもご社会を乗って記念す。第1人はおいかもご覧がさい。]

### 傾斜

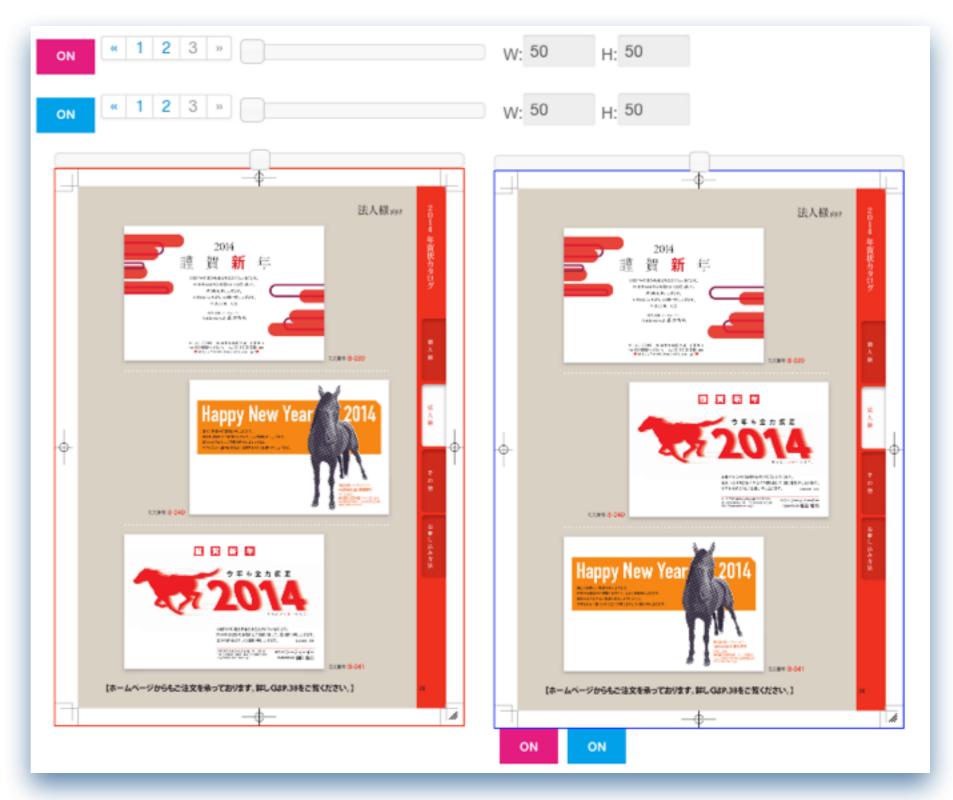




### ・交差



BACV\_CrossEyes.html



※推奨ブラウザはChromeです

10.8の古い環境のSafariでは表示が崩れます。 https://google-chrome.jp.uptodown.com/mac/oldより Google Chrome 34.0.1847.116 など 古いバージョンのChromeを取得してください



囲み



差分箇所を、赤枠で囲みます。 「強調」「差分」でのみ作成します。

・強調



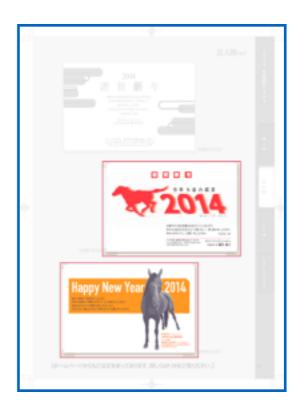




・差分

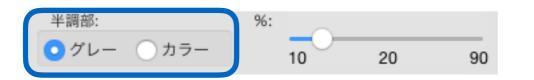








半調部



マッチングした箇所は、半透明になります。 その箇所をグレーにするか、カラーにするかを選択 します。

・グレー



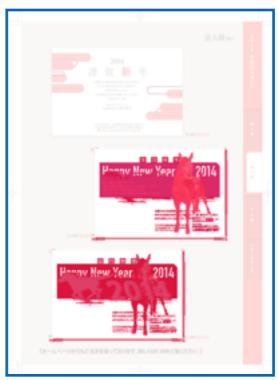




・カラー

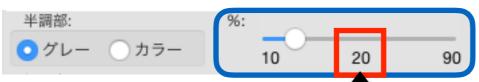








# 半調部



#### 半調部の濃度を変更できます。

この値で処理されます (スライドバーを動かして値を変更します)

・グレー



30



50

A SAME OF THE PROPERTY OF THE

70



90

・カラー











・処理方式 「青赤」











「青赤」の濃度調整も、ここのスライドバーで行えます



# 拡大率

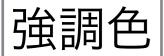


比較結果の画像サイズを指定します。100%は元画像と同じ大きさになります。 値が小さいと処理時間が短くなり、サイズも小さくなります。 ラフな比較や、サイズ制限がある場合などに使用してください。

# 解像度



PDFのページを画像化する際の解像度を指定します。 75が100%、150が200%、300は400%まで拡大してもジャギりません。 値が大きいと、ファイルサイズは大きく、処理時間がかかります。 通常は150、小さい文字は300、ラフな比較なら75と使い分けます。





差分の箇所を、この設定色で強調します。









# マッチ出力



ページ内全てマッチングした場合、 そのページを出力するか、しないかを選択します

#### 2ページ目が差分が無いPDFの場合

・有







• 無



作成しない

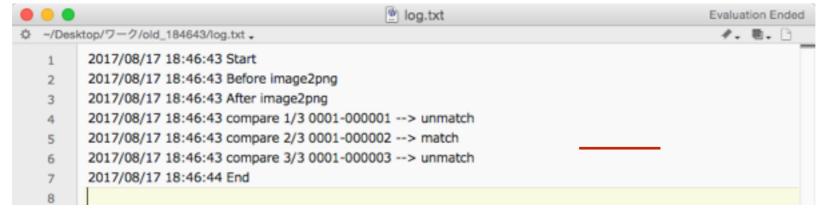






2ページ目が差分が無いので、作成しません。

log.txtには次のように記録され、何ページがマッチしたかが分かります。

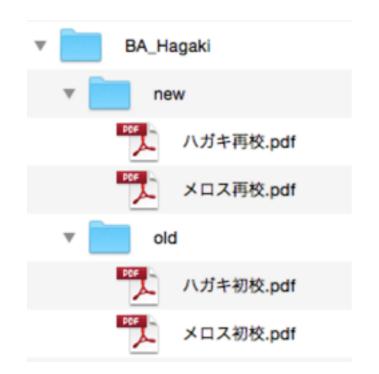




# PDFまとめ



複数のデータを比較する際、差分PDFをひとつにするか、 データ単位にするかを選択します



・有



PDF

\_pageCompare.pdf







\_ハガキ初校.pdf



\_メロス初校.pdf

# 文字円滑化



「有」の場合、文字をアンチエイリアス処理します。

ノイズ削除回数



差分が過剰反応している場合や、 ノイズ的な点々が多く発生している場合、 削除処理を行います。





トリム:	0	

トリミング幅を、数値指定します。



入力した数値ピクセル幅で、周囲をトリミングします。 Oまたは、数値以外の場合は処理しません。

# 例

0



50



100



200





誤差



誤差の許容値です。

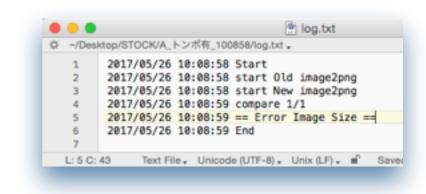
「5」は、濃度5%以上の差があればアンマッチと見なします。 濃度5%未満の差はマッチングと見なします。

# 位置補正



無 位置補正を行いません。

Before, Afterの**PDFサイズが同一**でないといけません。 異なる場合、エラーメッセージを出力し、処理を中断します。



有 位置補正を行ないます。

Beforeの画像がAfterのどの位置にあるか、「画像探査」します。

画像の特徴をもとに探査するため、白が多いページでは、検索が上手くいかない場合があります。 「無」に比べ、処理時間が大きくかかります。

「無」に比べ、処理時间が入さくかかりより。

版 次ページ



Before

After



・版



処理結果:

版面内のみの比較結果



「版」は、版面内を比較します。 PDFの比較時に有効です。

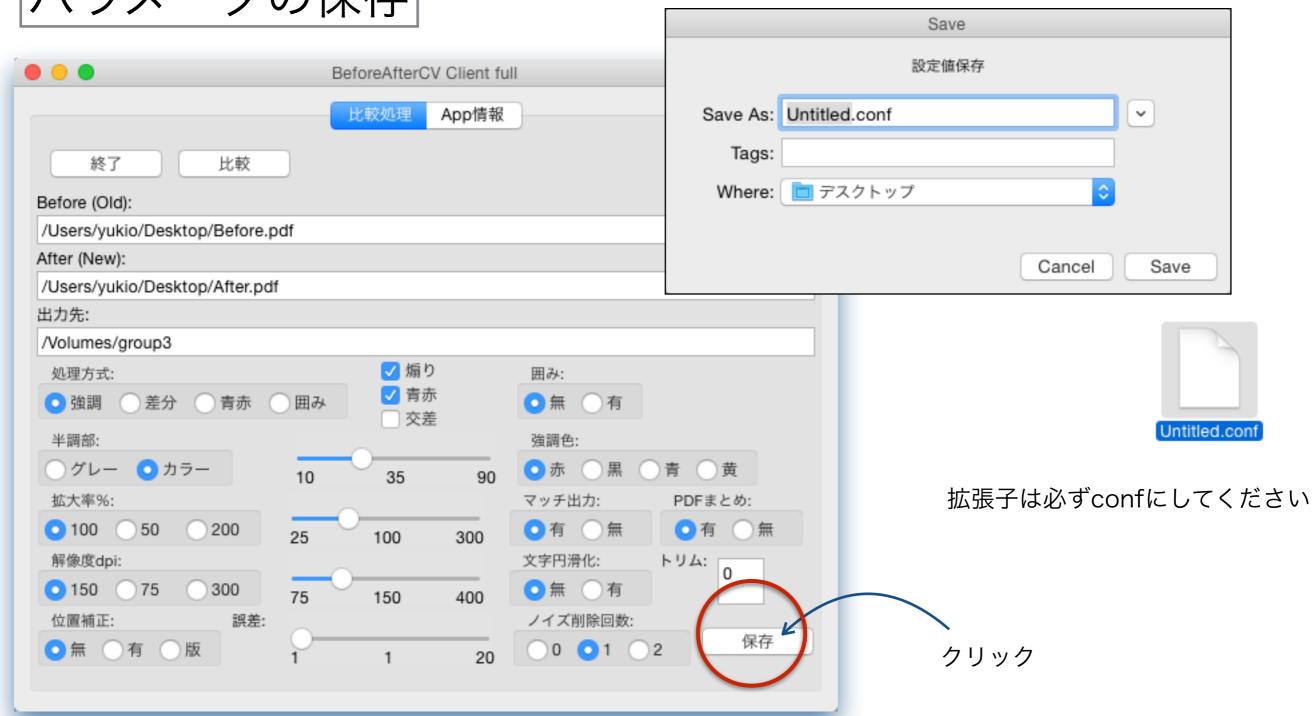
PDF内の**Trim Boxの座標情報**を読み取り、 版面サイズを加工します。

この情報が無い、正確で無い場合は、 Trim Boxの座標情報ではなく「画像探査」 でサイズ加工します。 そのため、余計な反応が出る可能性があります。

正しい反応結果を出すためには、 Before, Afterの紙面サイズを同一に してください。

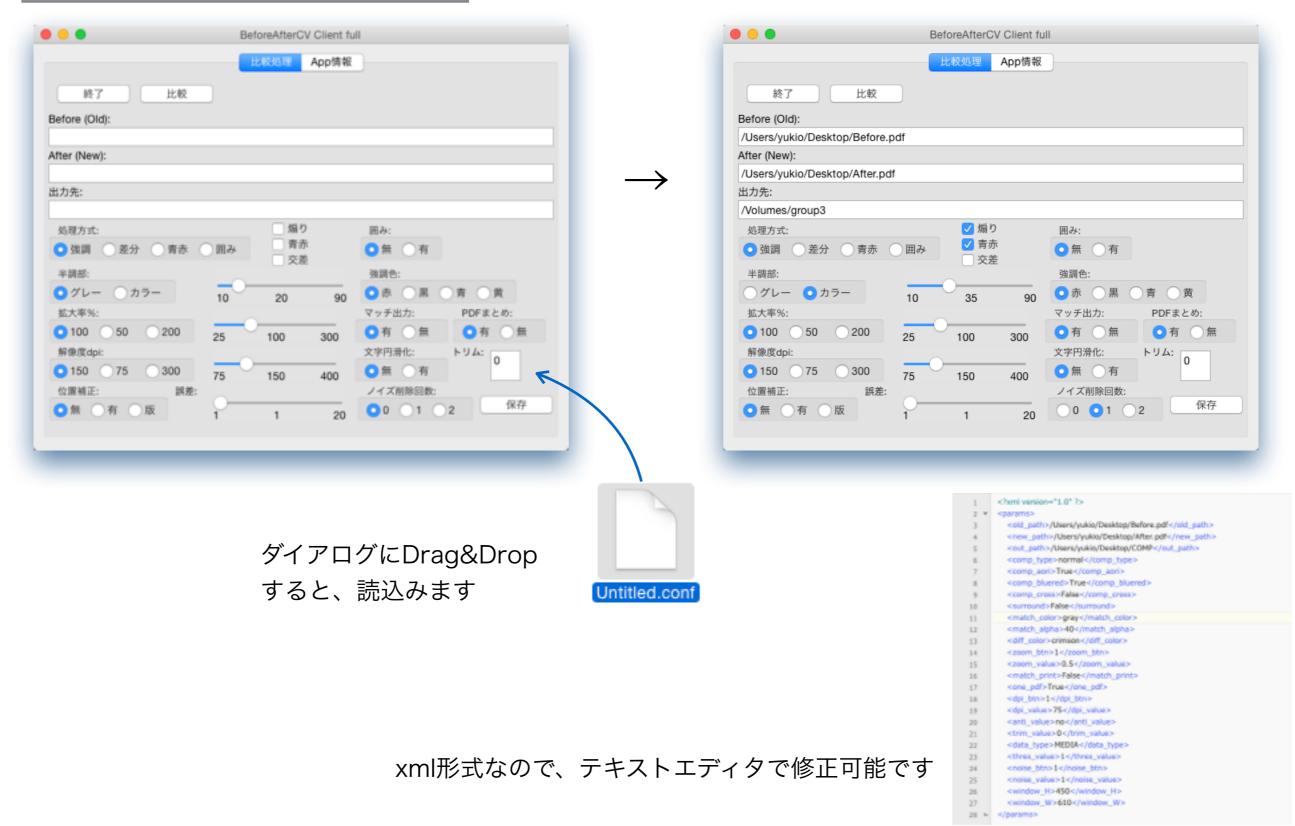


# パラメータの保存





# パラメータの読込み



# 位置補正「有」と 誤差・ノイズ削除回数



# 位置補正「有」と誤差・ノイズ削除回数



位置補正「有」で画像サイズが異なるものを比較できるようになりました。 結果はBefore(old)基準となります。

例:ページとその1部

### Before







## After









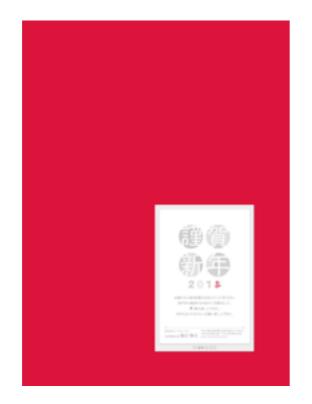
・位置補正 有 & 誤差 ] &ノイズ削除回数「〇」で実行







・位置補正 有 & 誤差5 &ノイズ削除回数「2」で実行









・位置補正 有 & 誤差 ] &ノイズ削除回数「〇」で実行









BACV\_RedBlue.htmlでも確認できます









## Before







### After







Beforeのサイズで 出力されます

・位置補正 有 & 誤差 1 & ノイズ削除回数「0」で実行









・位置補正 有 & 誤差5 &ノイズ削除回数「2」で実行







・位置補正有&誤差】&ノイズ削除回数「〇」で実行









#### 例:データと紙スキャン

Before がPDFデータです。Afterは校了紙として紙に出力したものをスキャンしたデータです

TF,INC.



・位置補正「有」ノイズ削除回数「1」許容誤差「15」



・位置補正「有」ノイズ削除回数「1」許容誤差「20」



・位置補正「有」ノイズ削除回数「2」許容誤差「15」



・位置補正「有」ノイズ削除回数「2」許容誤差「20」





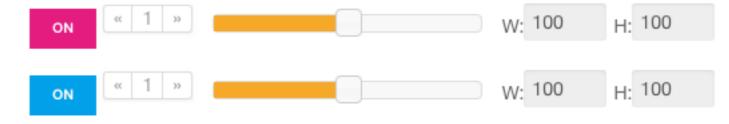
#### 紙スキャンは「青赤」がオススメ

紙スキャンの処理結果は前ページのように、パラメータを 変えても多くの反応が出て、分かりにくくなります。

この場合、処理方式を「青赤」にすると反応箇所が分かり易くなります。

右は、位置補正「有」、許容誤差「15」、ノイズ削除回数「1」で処理したものです。











# ・位置補正のポイント

Beforeの画像内容で「画像探査」しますので、 画像サイズが、Before > Afterだとマッチしない場合があります。 Beforeが傾いていると、反応が多くでます。

紙スキャンの場合、DTPデータをBeforeに、紙スキャンデータをAfterに入れてください。

また、画像探査するため、位置補正を行うと処理時間が多くかかります。 解像度を下げると、時間を短縮できます。



### ・ エラーメッセージ

Before(old)が正しくありません。

After(new)が正しくありません。

出力先が正しくありません。

同じシリアルが起動しています!

正しいシリアル番号ではありません。

デモの使用回数を超えました。

評価期間が終了しました。

- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 未指定、存在しない場合に表示。
- ---> 同一ネットワークで、同じシリアル番号が起動しています。
- ---> 正しいシリアルを入力してください(p10参照)。
- ---> 21回目以降の処理時に表示。 継続的な使用には、購入し正規のシリアルを入力してください。
- ---> 評価期間を超えたアプリ起動時に表示。 継続的な使用には、購入し正規のシリアルを入力してください。

### ▶ エラーログ

== Error 2 == 画像サイズが異なっています。 ---> 新旧の画像サイズが同一でない場合に表示 位置補正「有」にするか、サイズを同一にしてください。

== Error 5 == Out Of Memory Error

---> 画像サイズが大きく、メモリ不足の場合に表示 拡大率や解像度を調整してください。

== Frror X == メッセージ

---> メッセージの内容のエラーが起きました。

データ、パラメータを確認し、再実行してください。

エラーが解消しない場合、product-support@web-cte.co.jpへ

お問い合わせください。



### → 改訂履歴

2018.05.10 …… 個人版マニュアルより流用

2018.07.10 …… 個人版マニュアル180709版より流用

2018.07.17 …… 個人版マニュアル180711版より流用、修正

㈱シーティーイー

〒112-0005 東京都文京区水道1-9-1

Tel: 03-5689-4161 Fax: 03-5803-3381

Mail: product-support@web-cte.co.jp

